第54回日本薬剤師会学術大会
利益相反の開示

演者名：　大久保　敦子

私は今回の演題に関連して、
開示すべき利益相反はありません。

茅ヶ崎寒川薬剤師会

該当地域：神奈川県茅ヶ崎市（人口約24万人）と寒川町（約5万人）
会員薬局数：81薬局
会員数：137名

毎年薬と健康の週間期間中の日曜日に市民公開講演会を開催し、地域住民に対し健康や衛生に関する講演を提供している。

開催か、中止かの判断

新型コロナ感染症蔓延の中、様々なイベントが中止となっている。

感染症に関する間違った情報や誤解を招く情報があふれ、住民が大きな不安を抱える中でこそ薬剤師として正しい情報を提供する意味がある。

感染防止対策に万全を期し、開催することに決定

テーマ・開催方法・・・

テーマの変更⇒新型コロナ感染症に関するテーマへ

開催方法：対面か、WEBか？
　参加者に高齢者が多く、またネットを使用できない方々にこそ
　情報を提供すべき⇒対面での開催へ

参加者⇒自由参加から申込制による定員制へ

経過

3月14日	茅ヶ崎市感染患者確認
4月 7日	神奈川県に緊急事態宣言（第１回）（5月25日まで）
4月24日	開催についての検討開始
5月22日	理事会にて開催決定
5月28日	講師決定
7月 1日	会場決定
7月14日	参加人数、募集方法決定
7月16日	茅ヶ崎市・寒川町へ後援申請・手話通訳依頼
8月 3日	プロジェクトチーム募集開始
9月 7日	ポスター発注
9月 8日	プロジェクトチーム活動開始
10月 1日	開催最終決定・参加者募集開始
10月18日	市民公開講演会開催
11月 2日	来場者感染ゼロを最終確認

感染防止対策

・プロジェクトチームの編成（役員＋一般会員による10名）
・「新型コロナウイルス感染症に配慮した講演会の開催指針」を作成
　・申込方法の変更
　・中止の場合の連絡方法
　・参加者の誘導
　・受付（検温・手指消毒・体調確認）
　・会場の配置
　・換気
　・開催後の健康状況確認
・講演内容（参加者全員に携帯用の消毒液を配布し正しい消毒法を
　　体験して頂くことをプログラムに加えた。）
・アンケートの内容検討

新型コロナウイルス感染症に配慮した講演会の開催指針

・社会的距離（１.５～２ｍ）を確保できる人数で参加者を募集する。
先着５０名募集とする
　茅ヶ崎会場：２５４㎡（と前室４６㎡）
　講師、手話通訳２名を含めて考える。昨年は要約筆記４名あったが今年は
　なしとする。
・参加者にはマスク着用での来場を求める。
・開催の可否の判断は９月末、１０/１より参加者の募集
・参加申し込み時に連絡先を伺う（講演会終了後２週間で廃棄することを約束する）
　氏名、お住まいの地域、電話番号を伺う。マスクの着用をお願いする。

・開催スタッフの感染予防
　① 開催運営に当たるスタッフは、感染予防対策を徹底（アルコール消毒、手洗い、うがいの励行、マスク着用等）する。
　② 定期的な検温、体調管理を義務化し、37度以上または平熱より1度以上の発熱、新型コロナウイルス感染症の諸症状がある場合は、運営業務に従事しない。

・当日
　① 会場の机、いす、マイク等と床を適切に消毒する。（消毒用エタノールとペーパータオル、または消毒用エタノールとモップ使用）
　② 適切な間隔で椅子等を配置する
　③ 資料、配布物をいすに準備する（資料の配布時の接触を避けるため）
　④ 地域医療センター入り口での案内に人を配置する
　⑤ エレベーター（エレベーターは2名以下で使用）、階段の案内に人を配置する。
　⑥ 入室時にマスクの着用を確認（マスクのない方には配布する）し、手洗い（消毒）等を求める。

・受付時について
　① 列に並ぶ間隔に配慮
　② 入り口付近に滞留しないように配慮
　③ 検温の実施と体調の確認
　　体調確認表の準備：氏名、連絡先（ここは事前に作成しておく）
　　体温、体調（良・不良）を聞き取る
　④ ３７．５度以上の発熱の方、体調不良のある方はご遠慮いただく

・講演中
　① 最前列の方と講師との距離を考える。十分なスペースを取るか、講師または最前列の方に必要に応じフェイスシールドを着用していただく。
　② 適宜換気を行う。開放しておいても騒音、天候ともに大丈夫なら開放しておく。難しい状態の時は、３０分ごとに５分間の換気タイムを取る。

・終了時について
　① アンケート等の回収時の接触を避ける（着席した椅子の上に置いて退席していただく）
　② 出口付近の滞留に配慮
　③ 使用した物品の消毒をする（使用前と同じ方法）

・万が一、終了後２日以内に体調を崩し新型コロナウイルスと診断された場合には、薬剤師会に連絡いただくようにお願いする。

広報

薬と健康の週間

第９回 市民公開講演会

「我が家で気軽にできる、感染症・食中毒対策 ～コロナの時代に～」

■ 講 師
帝京大学薬学部 教授 下平 秀夫 先生

令和２年 10月18日（日）
＊ 事前申し込み制です（入場無料）

10:00～12:00 寒川町健康管理センター
申込先 旭が丘薬局 ☎73-5232 先着２５名

14:30～16:30 茅ヶ崎市地域医療センター等複合施設２階講堂
申込先 薬剤師会事務所 ☎38-8063 先着５０名
（茅ヶ崎会場は手話通訳がありません）

感染症対策の徹底のため、受付での手指消毒と検温、氏名および連絡先の確認をさせていただきます。尚、事前申し込み以外の方の入場はできませんのでご注意ください。

■ 主催 茅ヶ崎寒川薬剤師会
お問合せ 電話：0467-38-8063
FAX：0467-38-8261

■ 後援 寒川町・茅ヶ崎市

茅ヶ崎会場の地図

茅ヶ崎寒川薬剤師会 主催
市民公開講演会
「我が家で気軽にできる、感染症・食中毒対策 －コロナの時代に－」
10月18日(日)
入場無料・事前申込制
帝京大学薬学部 教授
下平秀夫 氏
●寒川町健康管理センター
10:00～12:00 先着25人
申込み先 旭が丘薬局
☎0467-73-5232
●茅ヶ崎市地域医療センター等複合施設2階講堂 ※手話通訳あり
14:30～16:30 先着50人
申込み先 薬剤師会事務所
☎0467-38-8063
※感染対策のため、手指消毒と検温、氏名・連絡先の確認をさせていただきます。

茅ヶ崎寒川薬剤師会 第９回市民公開講演会

コロナ時代の感染対策を学ぶ

先着順

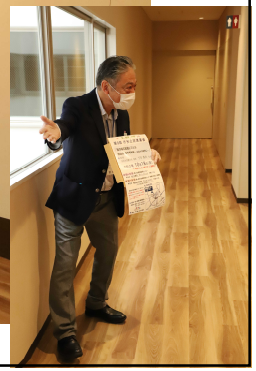
10月18日(日)茅ヶ崎・寒川２会場で

最近、新型コロナが心配で眠れない「コロナ不眠」に陥る人が増えているという。そこで、茅ヶ崎寒川薬剤師会は正しい知識を得て少しでも不安を解消してほしいと、10月18日(日)に市民公開講演会「我が家で気軽にできる、感染症・食中毒対策－コロナの時代に－」を無料。事前申込制で、茅ヶ崎会場は先着50人、寒川会場は先着25人。

当日は帝京大学薬学部教授の下平秀夫氏がコロナをはじめ、冬季に増えるノロウイルスなどの食中毒の予防策について分かりやすく解説する。

同会は「本年は感染症対策を徹底するため事前申込制となりますが、今後に役立つ有意義な講演会にできれば」と話す。

会場への誘導



受付

会場入口の掲示

新型コロナウイルス感染症
拡大防止のためのお願い

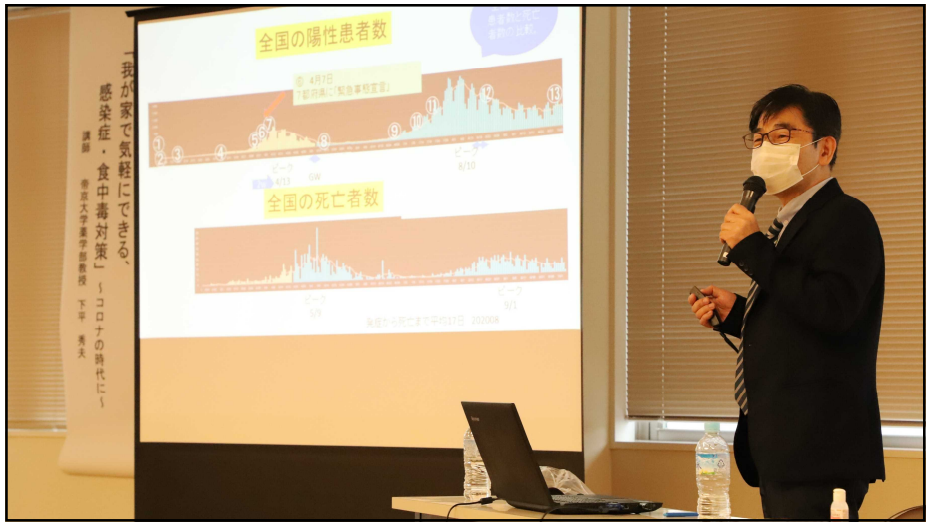
万が一、当講演会の参加者の中で、感染者が 確認された場合、保健所などの聞き取り調査にご協力をお願いいたします。

また、濃厚接触者と判断されるような場合には、接触してから２週間を目安に自宅待機などの要請が行われる可能性があります

茅ヶ崎寒川薬剤師会

寒川会場

茅ヶ崎会場



参加者へのアンケート

アンケートは感染防止の観点から、椅子に置いたまま帰って頂く方法で回収した。

茅ヶ崎寒川薬剤師会市民公開講演会　アンケート

1. 茅ヶ崎寒川薬剤師会は、毎年この時期に市民公開講演会を開催しています。
市民公開講演会への参加は何回目ですか。(初めて　・　2回目　・　3回目以上)

2. この講演会は何でお知りになりましたか。
（タウンニュース　・　薬局のポスター・チラシ　・　その他〔　　〕）

3. 性別と年齢を教えてください。　（　男性　　女性　）
（20歳未満・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳代・80歳以上）

4. 今回の講演はいかがでしたか。
（とても良かった　・良かった　・　まあまあ　・　つまらなかった）

5. 今回のこの講演会の感染症への取り組みをどのように思いますか。
（ア）　事前の申し込み方法　（　良い　・　仕方ない　・　面倒　）
（イ）　会場入り口まで対応　（　良い　・　普通　・　悪い　）
（ウ）　受付の対応　（　良い　・　普通　・　悪い　）
（エ）　講演中の対応　（　良い　・　普通　・　悪い　）

6. 新型コロナウイルスで生活が変わったことはありますか。
（変わりない　・　変わった　）
自由記載欄（例：ストレスがたまるなど）
［　　］
・感染が心配で受診を控えたことはありますか。　（　ある　・　ない　）

7. 感染症・環境衛生について、町の薬局の薬剤師にやってほしいこと、期待することがあるでしょうか。　ご自由にお書きください。
［　　］

ご協力ありがとうございました。

アンケート結果

- 回収率　１００％
- 講演会の内容
  とても良い ６１％　良い ２６％
  まあまあ　１３％　悪い　０％
- 感染防止対策のための参加申込制（人数制限・連絡先の確認）
  良い ８８％　仕方ない １２％　面倒 ０％
- 会場までの誘導・エレベーターの人数制限
  良い ９７％　普通 ３％　悪い ０％
- 受付の対応（検温・手指消毒・体調確認）
  良い ９１％　普通 ９％　悪い ０％
- 講演中の感染対策（換気・ソーシャルディスタンス）
  良い ８７％　普通 １３％　悪い ０％

結果

- 感染症蔓延時における感染症をテーマとした講演会は、多くの市民に好評であった。（とても良い＋良い　８７％）
- 感染拡大防止対策を取った講演会としての申し込み制、連絡先の確認等は講演会の参加を大きく妨げるものではなかった。
- 誘導、受付での対応もおおむね好評で、面倒に感じる等のことはなく受け入れてもらえたと考えられる。

- 当方の感染対策が功を奏したと断言することはできないが、講演後２週間の時点で参加者における感染症発症者はゼロであった。

考察

感染症蔓延下における市民への情報提供は、平時と比べ困難を極めるが、そのような時にこそ薬剤師は市民に対し保健衛生等の情報提供を行い、市民の安心安全を確保しなければならない。

薬局での情報提供も重要であるが、個々による対応には限界もある。感染防止対策をしっかり行った上での講演会開催は、１つの選択肢として検討するに値するものと考える。